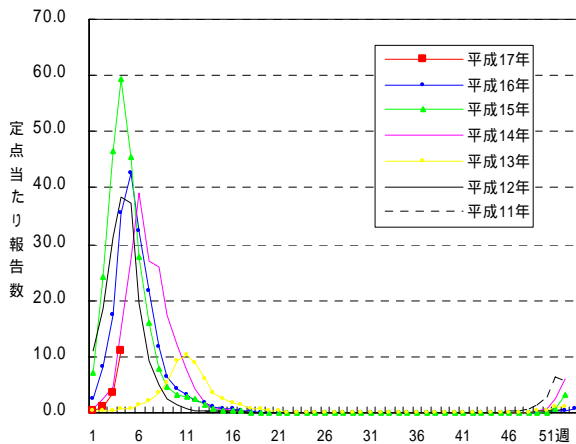


トピックス

インフルエンザ流行発生注意報発令

インフルエンザ



立春を迎え、暦の上では春の始まりとなりましたが、厳しい寒さが和らぐまでには、まだ少し時間がかかりそうです。さて、出足の遅かったインフルエンザですが、目下、報告数は急増中で、今シーズン初めての流行発生注意報が愛知県内の 11 保健所管内で発令されました。

この注意報は厚生労働省・感染症サーベイランス事業の一環として、1 週間の定点（愛知県では 195 医療施設）あたりの報告数がある基準値を超えた場合に発生します。インフルエンザの場合は、定点あたりの報告数が 10 以上で注意報、30 以上で警報が発生します。警報が発令されると、定点あたりの報告数が継続基準値である 10 を下回るまでの期間、警報が発令されます。注意報の発令は、インフルエンザが今後大きな流行に拡大する恐れがあることを意味しています。どうか、十分な感染予防対策を心がけてください。

その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

< インフルエンザから身を守るには >

過労を避け、十分な睡眠、栄養、保温に心がけ体調を整えましょう。
 人混みへの外出をできるだけ避け、帰宅時には、うがい、手洗いをしましょう。
 かかった時は、早めに医師の診察を受け、安静に保つことにより、肺炎などの合併症を防ぐよう心がけましょう。特に、高齢者の方は、インフルエンザの症状があまりでないが、長引くと肺炎など重症になる可能性があるため、かぜの症状がでた場合、早めに医療機関を受診することが大切です。なお、医療機関を受診の際には感染させたり感染してしまうことがないように、なるべくマスクをしましょう。

集団かぜの患者発生状況について

【平成 17 年 2 月 2 日午後 3 時現在】

	県		名古屋市		豊橋市		岡崎市		豊田市		合計	
	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数	患者数	欠席者数
2.2現在	563	378	385	241	40	19	0	0	94	54	1,082	692
前年同期	2,501	1,318	896	478	141	80			16	10	3,554	1,886

注1 県には名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市の患者数及び欠席者数を除く。

注2 患者数、欠席者数は、学級閉鎖等防疫措置を実施したものについて計上。

注3 欠席者数は、患者数のうち欠席した者を再掲として計上。

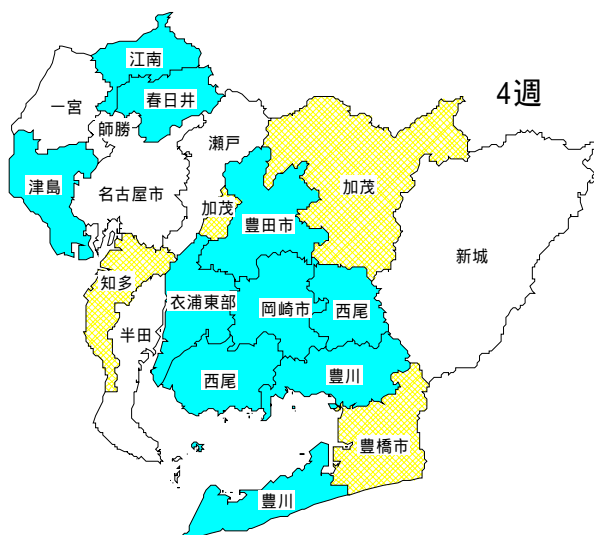
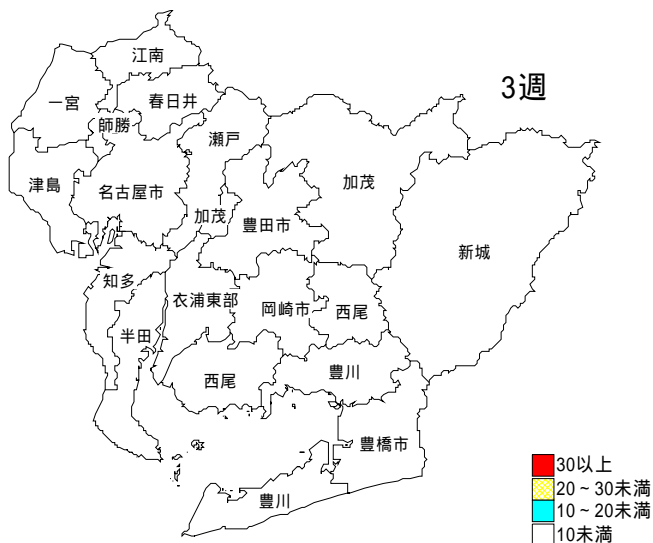
愛知県感染症情報 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

インフルエンザ関連情報リンク (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/inf_links.html)

愛知県のインフルエンザの流行予測について (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/infyosoku.html>)

インフルエンザウイルス分離状況 (http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infibunri04_05.html)

インフルエンザの保健所別報告数の推移(名古屋市含む)



	4週	定点 当たり	3週	定点 当たり		4週	定点 当たり	3週	定点 当たり
名古屋市	407	5.8	130	1.9	岡崎市	219	19.9	31	2.8
瀬戸	57	6.3	20	2.2	衣浦東部	217	19.7	67	6.1
津島	132	18.9	61	8.7	西尾	57	11.4	9	1.8
師勝	26	6.5	7	1.8	豊田市	86	10.8	35	4.4
一宮	114	7.1	25	1.6	加茂	64	21.3	17	5.7
春日井	167	18.6	75	8.3	豊橋市	262	21.8	96	8.0
江南	72	12.0	29	4.8	豊川	130	14.4	67	7.4
半田	17	2.8	7	1.2	新城	5	2.5	1	0.5
知多	今週注意報が出ている保健所は42箇所です		3週は20箇所です	5.9					

は今週注意報が出ている保健所(市)です。

定点の先生方からのコメント

尾張西部地区

インフルエンザが増えてきました。1～10歳
24人

B型 23人(ワクチン2回スミ 9人、ワクチン
1回 4人)

A型 1人(ワクチンなし)

【一宮市 あさのこどもクリニック】

小児はB型が全て、成人はA型

【一宮市 後藤小児科医院】

病原性大腸菌O1 3歳男 2名、5歳男

病原性大腸菌O6 1歳男

病原性大腸菌O25 1歳女、3歳男

病原性大腸菌O86a 4歳男

病原性大腸菌O153 23歳女、38歳女

インフルエンザが出てきましたが、B型が迅速
テストでは反応出ましたが、B型が迅速テ
ストでの度重なる検査では反応しなかった例で
HI法ではA型 320倍の患者がおり、迅速テスト
におけるA型の判定には問題があるかもしれま
せん。

【尾西市 城後小児科】

1例(8歳ワクチン済2回)を除き、27例全て
B型(ワクチン未接種が多い。)

【一宮市 平谷小児科】

インフルエンザB型です。

【一宮市 医療法人かすがい内科】

インフルエンザB 2人

【稲沢市 稲沢市民病院】

B型インフルエンザがリバイバルしてしまし
た。やはり、小学校 3年生以下の子供が中心
です。

胃腸炎もまた増加してきました。

下痢を主訴とするものが多くなり、一部高熱
を伴うものもあります。

アデノウイルスによる扁桃炎が例年と比べて
目立ちます。

【犬山市 武内医院】

ロタウイルスが出はじめました。

インフルエンザは 20例 A型 2例、B型 18
例

ワクチン接種者は 14例でした。軽症が多い。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

インフルエンザが増加してきました。(30名ず
べてB型)

感染性胃腸炎、溶連菌感染症の流行も続い
ています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

インフルエンザはA型が 1例(5歳女)

他はB型でした。

【江南市 河野小児科】

インフルエンザHテスト陽性 A型 0例、B型
7例とすべてB型でした。

【丹羽郡扶桑町 いずみ内科】

26歳女カンピロバクターによる出血性腸炎

【師勝町 田中クリニック】

インフルエンザが出て参りました。A型 1人、
他はB型です。その中 1人はインフルエンザワ
クチン 2回接種済みです。

【春日町 丹羽医院】

インフルエンザ 21例、ほとんどがB型でし
た。

【津島市 医療法人参育会加藤医院】

インフルエンザA型 0人、B型 26人

【十四山村 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

感染症胃腸炎は少し減少

B型インフルエンザ 5名(ワクチン接種
済 3名)

水痘、溶連菌感染症も目立ちます。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

6歳男、31歳男性 B型インフルエンザ

2歳女 黄色ブドウ球菌・カンピロバクター(感
染症腸炎)

【豊明市 豊明団地診療所】

ロタ胃腸炎多し。

【小牧市 小牧市民病院】

インフルエンザ急増、次週、次々週あたり
がピークでしょうか。なお 33例中Aは 4例、
Bが 29例です。筋炎が 1例見られました。

【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザが増えて来ました。A型も
1人出てきました。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

今週も溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症よくみられました。

インフルエンザはA型1例(成人) B型は2例(成人と小児)でした。

その他水痘、突発疹散発、再び嘔吐、下痢が増加してきました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザB型が増えてきました。

インフルエンザA型も出てきました。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザ14例。3例はワクチン接種済み。B型11例。A型2例。A B型1例。

胃腸かぜ少々

水痘少々

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

今週はインフルエンザB1例ありました。

ワクチン接種済みです。

今週も感染性胃腸炎流行中です。アデノウイルス感染症1例ありました(2歳男)。

【春日井市 かちがわ北病院】

エスプラインにてインフルエンザBを検出 当院第1例です。

【春日井市 竹内医院】

水痘・流行性耳下腺炎、流行続いている。

【美浜町 愛知県厚生連知多厚生病院】

インフルエンザ感染症 A型3名、B型18名

感染症胃腸炎相変わらず多いようです。

【東海市 小児科八ヤカワ医院】

インフルエンザが増えました。いずれもB型です。

胃腸炎も多いです。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

7ヵ月男、2歳男、4歳女、6歳女 ポクテムインフルエンザA/B(B+)

7歳男3名、7歳女、8歳男2名、8歳女、9歳女 ポクテムインフルエンザA/B(A+)

11ヵ月女、1歳男、1歳女 ラピッドテスト(口タ)

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

6ヵ月男 病原大腸菌O1

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

インフルエンザA型6名(H小学校5名、1名はその妹)

B型32名(H小学校0名)

【岡崎市 医療法人深田小児科】

全員インフルB(+)

【岡崎市 花田こどもクリニック】

インフルエンザ12例全部B型

予防接種2回済 4歳男、7歳男の2例のみ10例は予防接種未接種

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科スズキ医院】

インフルエンザA型5名(1名 家族内発症)

インフルエンザB型28名(11名 家族内発症 8名 ワクチン接種済)

インフルエンザA、B型2名(1名 家族内発症、1名 ワクチン接種済)

【岡崎市 医療法人永坂内科医院】

インフルエンザ出始めましたが、大流行といえる程ではありません。(殆どBです)

【碧南市 永井小児クリニック】

キャピリアFluA(+)1例・FluB(+)8例、2歳口タ(+)腸炎1例

【刈谷市 田和小児科医院】

7歳女 アデノウイルス(+)

1歳女 病原性大腸菌O1 VT(-)

4ヵ月男 病原性大腸菌O25 VT(-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

1歳女 病原大腸菌 O1

4歳女 アデノウイルス滲出性扁桃炎

A型インフルエンザ7名 内予防接種歴有2名

B型インフルエンザ27名 内予防接種歴有7名

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

17人 インフルエンザ B型

4人 兄弟及び子がB(+)

【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】

インフルエンザB型小流行か。計10名(10歳未満3名、10歳台2名、20歳台2名、30歳台3名)

A型は今シーズンまだ出ていません。

【岡崎市 粟屋医院】

インフルエンザB型1例目が出て、1週間後には学級閉鎖になりました。例年にはないスピードで感染が広がっているように思います。

【三好町 医療法人三好丘こどもクリニック】

インフルエンザB 4歳男、6歳女、37歳女(ワクチン接種済)

【西尾市 やすい小児科】

胃腸炎は減少

インフルエンザ増加傾向 A型3人、B型15人(3人予防接種済み)

【西尾市 山岸クリニック】

インフルエンザ総検数 186 (A型 17、B型 39 陽性率 30.1%)

【安城市 安城更生病院】

インフルエンザ 18 人 A、B 半分半分です。

【知立市 宮谷クリニック】

インフルエンザ (A型 17 名、B型 4 名) が増えました。

感染性胃腸炎も多いです。

【三好町 三好町民病院】

インフルエンザB型ばかり

【西尾市 こどもクリニック宮地医院】

2 歳男 病原性大腸菌O18 VT (-)

3 歳男 アデノウイルス感染症

インフルエンザA型:B型は 1:2 で、B型が多い。

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

小学校、保育園、幼稚園でインフルエンザBを主体にした流行が広がっています。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

A型 4 人、B型 29 人、33 人のうちワクチン接種者は 5 人であった。

【豊橋市 医療法人山本内科】

A型インフルエンザ 2 名、B型インフルエンザ 11 名、B型のうち予防接種施行者 2 名いました。

【豊橋市 医療法人杉浦内科】

インフルエンザはA型 2 名、B型 58 名の計 60 名で、B型が流行してきました。

【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

インフルエンザ増加

ロタウイルス等の胃腸炎も散発

【豊川市 豊川市民病院】

インフルエンザはほとんどB型です。

【蒲郡市 蒲郡市民病院】

インフルエンザ主にBであるが、2 名Aあり。

いずれも豊橋地区にて感染しているようです。

【田原市 かわせ小児科】

一～三類感染症の発生状況

- 愛知県 (名古屋市を除く。) -

腸管出血性大腸菌感染症

< 関連リンク > 三類感染症ってなあに？

(http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/3rui_1.html)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備 考
1	知 多	24	男	1 / 22	1 / 24	1 / 27	O157 VT1 (+) VT2 (+)

四類・五類 (全数把握) 感染症の発生状況

- 愛知県 (名古屋市を除く。) -

アメーバ赤痢 2 例 (推定感染地域: 国内 2 例、推定感染経路: 性的接触 1 例, 不明 1 例)

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-1>)

梅毒 1 例 (早期顕症、推定感染地域: 国内、推定感染経路: 性的接触)

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokede.html#5-11>)

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

大雪と寒波で震えてしまいましたが、通勤路で出会う子供達の元気な声に思わず前かがみの背骨をシャッキリ伸とばしたりしています。いつも貴重な情報を有難うございます。1 月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からは感染症は全般に少ない状況で、B 型インフルエンザが出始めたがまだ多くなく、ロタウイルス腸炎が増加傾向、ムンプスと水痘が散発、ロタウイルスを含む感染性胃腸炎の入院がやや多く、マイコプラズマ肺炎が一定数入院、城北病院渡辺先生からは内科を含めインフルエンザ A は 1 例のみで他はすべて B で増加傾向はない、乳幼児の喘息様気管支炎で R S 陽性例が多いが鼻汁が多い例に出やすい、感染性胃腸炎は横這いで嘔吐が主な例が多く発熱だけの例で後から口腔内ヘルペス出現例が散見される、千種区今枝先生からはウイルス性胃腸炎の幼児、小学生ぼつぼつ、細菌性胃腸炎の小学生ぼつぼつ、熱を伴う感冒症候群ぼつぼつ、三菱病院入山先生からは感染性胃腸炎 5 名（病原性大腸菌 O1、O6、O25、O86 a 等）、ムンプス 1 名、気管支炎～気管支肺炎を合併、入院したインフルエンザ 9 名、マイコを含む肺炎の入院 5 名（1 名はクラミジア・ニューモニエ陽性）、感染性胃腸炎の入院 2 名、カポジ水痘様発疹入院 1 名、中京病院柴田先生からは感染性胃腸炎がパラパラあり、ロタウイルス陽性例を含めて嘔吐下痢で入院する例と R S ウイルス陽性の細気管支炎の入院が目立つ、大同病院水野先生からはインフルエンザは B と A があり B が多い、ウイルス性腸炎がまだ多く複数回の痙攣を繰返して入院した例あり、R S ウイルスの細気管支炎（数は減ったが入院例目立つ）、A 群溶連菌感染症目立つとのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からはロタウイルス感染症を含む感染性胃腸炎が多発中、伝染性紅斑が 1 例、ムンプス散発、B 型インフルエンザウイルス感染症が再燃してきた、江南市昭和病院小児科からは感染性胃腸炎、A 群溶連菌感染症、ロタウイルス胃腸炎の入院、B 型インフルエンザの入院例、アデノウイルス咽頭炎の入院が目立つ、常滑市民病院上田先生からはロタウイルスを含む感染性胃腸炎（入院多い）、ムンプス、水痘、インフルエンザ B などが目立ち、肺炎（肺炎球菌、マイコプラズマ）、R S ウイルス細気管支炎などの入院が目立つとのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からはロタ、インフルエンザ B が少し出てきた、水痘とムンプスの小流行あり、入院を要するロタウイルス感染症が 2～3 人、いわゆる胃腸炎（ノロ？）の入院あり、加茂病院梶田先生からはインフルエンザが少しずつ出始め（A < B）、ムンプスと水痘の小流行、感染性胃腸炎はまだ多く（要入院例目立ちロタウイルス感染症増加）、R S ウイルス感染症は減少、昨年未から川崎病入院例が多く 1 月前半にも 3 名入院、刈谷市田和先生からは感染性胃腸炎（ロタ陽性 1 例を含む）数例、ムンプスと水痘がたまにあり、インフルエンザ A 1 例、B 12 例、豊橋市長屋先生からは感冒性胃腸炎、インフルエンザ、ヘルパンギーナなどが少数例ありとのお手紙でした。有難うございました。

2004 年 12 月 17 日（79 巻 51 / 52 号） <http://www.who.int/wer/2004/wer7951/en/>

ドミニカ共和国。マラリアの予防内服勧告の変更（予告記事）：同国西部の各州で年間を通じて熱帯熱マラリア発生、最近も流行がハリケーン襲来後発生。薬剤耐性は認められていないが発病早期に治療を開始しないと致死経過をとる重症疾患であり、WHOは注意喚起と共に同国における予防内服の方式を05年4月にみなおす予定。

79 巻 1-52 号（2004 年）総索引。

12 月 10-16 日届出。コレラ：コンゴ、ケニア、セネガル。黄熱：マリ。

2005 年 1 月 7 日（80 巻 1 号） <http://www.who.int/wer/2005/wer8001/en/>

鳥インフルエンザ。ベトナム：04 年 12 月 30 日、ベトナムから WHO に検査室診断確定の鳥インフルエンザのヒト感染例の報告。16 歳女性。12 月 26 日入院。南部ベトナム居住。感染経路調査中。ヒトの H5N1 分離陽性例は 04 年 9 月以来であり、今回は同じ地区で養鶏場の発生がいくつか報告。鳥インフルエンザは涼しくなると多発することや、テト（旧正月）行事で人や鶏の移動が活発になることから今後の発生が注目される。04 年 1 月以降ベトナムでは 28 例（死亡 20）の人感染が確定されている。

腸チフス。コンゴ共和国：04 年 12 月 15 日、WHO へ首都キンシャサで大流行継続中の報告（同じ地区で大腸菌感染症集団発生が 04 年 5 月にあり）、12 月 13 日までに 13,400 例、10 月 1 日-12 月 10 日に 615 例の重症腹膜炎（死亡 134）あり 32 検体からチフス菌陽性 5 検体。劣悪な衛生状態と水供給問題。特別委員会が対応中。

スーダンにおけるポリオ増加：1 型野生株の輸入例発生後全国的に急増。1 月 6 日までに確定 105 例、同国 26 州中 17 州で発生し遺伝子型は北部ナイジェリア、チャドの流行株と一致。サウジアラビアでスーダンから輸入例 1 例が発症。全世界からポリオが根絶されるまではポリオ消失地区でも予防継続の重要性が示唆されている。スーダンでは主な流行地であり、内戦、難民キャンプ、感染症多発の問題が大きいダルフル地区でワクチン一斉接種を 2 回、全国一斉接種を 2 回、2004 年実施し 05 年には全国一斉接種を 2 回予定、サウジアラビアも対応検討中。

ワクチン安全性世界勧告委員会。04 年 12 月 2-3 日の委員会の勧告：今後検討すべき問題として下記を勧告。アジュバント：ワクチン開発（マラリア、HIV、ヒトパピローマウイルス、B 型肝炎など）と共に問題視され、さらに現行ワクチンの途上国における安全性も注目される。チメロサル：各種中枢神経系疾患、自閉症発病との関連が話題になっている。実験動物モデル確立、発生に関する過去の疫学報告の解析評価、乳幼児や栄養失調状態の調査立案が重要。ワクチンに残留する培養細胞の DNA：潜伏ウイルス DNA 混在、人 DNA への組込みの問題。感染性海綿状脳症とワクチン：ゼラチンのような動物由来のワクチン添加物の安全性。現在までに直接関連しているような報告はないが、今後の検討が必要。酵母で作られたワクチン：酵母のペプチドと人のミエリン蛋白の類似性が話題となっている。但し、B 肝ワクチンでも酵母由来の蛋白量は非常に低く日常の酵母との接触頻度の多さから問題ないと思われるが検討課題であろう。多価ワクチン：6 価ワクチン（DTP - Hib - IPV - HepB）：欧州で認可。乳児突然死症候群との関連が継続調査中。黄熱ワクチン：接種後の多臓器不全の合併が 23 例報告。死亡率 61%。リスクファクターとしてあげられるのは胸腺関連疾患（？）だけ。旅行者に対する接種の際、既往歴に注意すること。今後の解析が必要。

12 月 17 日-1 月 6 日届出。コレラ：ブルンジ、チャド、コンゴ、ウガンダ、タンザニア。ペスト：米合衆国。黄熱：ギニア。

2005年1月14日(80巻2号) <http://www.who.int/wer/2005/wer8002/en/>

鳥インフルエンザ。最近のベトナム：1月6日WHOにベトナム・ホーチミン市から鳥インフルエンザの人感染確定例2例(2例とも死亡)の報告。H5型。詳細は分析中。第1例は南部居住6歳男。12月30日死亡。第2例も南部居住の9歳男。1月4日死亡、他に1例12月下旬に入院、重症。これら3例全員が鳥インフルエンザが12月に入って養鶏場で多発を反復している地域に居住。当局はこれら患者との接触者を厳しく監視すると共にWHOの協力で新規患者発生監視を強化。旧正月季節の多発を注目。

髄膜炎菌髄膜炎。チャド：1月3-8日、北部チャドの難民キャンプで3例発生。血清型はW135。WHO、国連難民高等弁務官、国境なき医師団、国際赤十字・赤新月団が共同で調査、治療、ワクチン緊急接種を実施中。

髄膜炎菌敗血症様疾患。フィリピン：1月11日、同国保健省は33例(死亡19)の髄膜炎菌敗血症様疾患がバギオ市で発生とWHOに報告。血液培養で髄膜炎菌陽性8例。重症例多く致死率が通常の髄膜炎菌感染より強く、WHOは専門家派遣、調査中。

黄熱。ギニアとマリ：ギニア北部で10月19日-11月28日に6例発病。マリ北部で1例死亡。いずれもセネガル・ダカールのパスツール研で確認。両国ではWHOの協力のもとに疫学調査とワクチン緊急接種実施中。

予防接種、ワクチン、生物製剤開発担当の作戦助言者専門家集団(Strategic Advisory Group of Experts, SAGE)の勧告：SAGEは99年にWHO諮問機関として発足、本報は10月27-29日のWHO本部での会議での勧告である。世界的な現状と方針について：予防接種は感染症の減少に確実に貢献していてポリオ生ワクチン中止が検討され、ワクチンによる麻疹死亡対策が進んでいる。従来のワクチンの普及活動と、鳥インフルエンザ、SARS、HIVなどを含む新ワクチンの開発が重要である。結核、マラリア、AIDSなどの対策に関する資金面の問題も大きい。アフリカ地区におけるワクチン普及の低さが問題となっている。ワクチン普及に関する財政的困難。ポリオ根絶後の生ワクチン中止問題。進展中の髄膜炎菌ワクチンプロジェクト。ロタウイルスワクチン：数種類のワクチンが開発されているが問題点が残されている。麻疹死亡減少と風疹、特に先天性風疹症候群減少プロジェクト。Hemophilus Bワクチン接種方式。ワクチン製造中に混在してくる培養細胞成分の安全性問題。これらに関するSAGEの勧告が述べられている。

1月7-13日届出。黄熱：カメルーン。コレラ：シンガポール。

愛知県感染症情報

2005年第4週(平成17年1月24日～平成17年1月30日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県																										
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	8	2,174	25	234	1,655	272	38	38	114	0	2	8	1	165	0	31	0	0	5	0	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	7	1,767	20	170	1,173	206	32	33	97	0	1	4	0	120	0	27	0	0	5	0	0
名古屋	70	70	11	14	1	1	407	5	64	482	66	6	5	17		1	4	1	45		4					
尾張東部	9	9	2	3	1	1	57	4	22	56	15		4	12			1		3		1			3		
海部津島	7	7	2	2	1		132		4	87	9	1	7	7					11		1					
尾張中部	4	4	1	1			26		7	41	9															
尾張西部	16	12	3	4	1		114	1	12	90	21	8		7					2		2					
尾張北部	9	9	2	3	1	3	167	9	14	65	12	3		7		1			10		4					
	6	6	1	2			72	2	15	100	7	3	1	6					9							
知多半島	6	6	1	2	1	1	17		5	73	30	3	4	2			1		20		1					
	7	7	2	2			142	1	33	88	9	1	1	7					6							
西三河南部	11	7	2	2	1		219		9	26	11	5	5	13					20		2					
	11	11	2	4	1		217		9	78	18	3	8	11					9		5					
	5	5	1	2	1	1	57		9	47	11	5		8					2		2					
西三河北部	8	8	2	3	1		86		13	242	24			10					8		4			2		
	3	3		1			64			23	9		1	1					6							
東三河南部	12	8	2	4	1		262	3	7	87	4		1	5			2		2		4					
	9	8	1	2	1	1	130		11	69	16		1	1					11		1					
東三河北部	2	2			1		5			1	1								1							

愛知県感染症情報

2005年第1週～第4週(平成17年1月3日～平成17年1月30日)(累計)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	鳥インフルエンザ(高病原性)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県																										
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	84	3,215	134	877	7,113	1,284	107	102	432	3	2	21	3	836	1	106	0	0	18	0	0
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	70	2,616	109	653	5,001	1,004	88	82	334	3	1	12	1	626	1	89	0	0	18	0	0
名古屋	名古屋市	70	70	11	14	1	14	599	25	224	2,112	280	19	20	98		1	9	2	210		17				
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	9	91	25	63	215	50		15	26			3		10		3		7		
海部津島	津島	7	7	2	2	1		204		19	497	49	3	10	14					71		6		1		
尾張中部	師勝	4	4	1	1			33		10	160	20			2					1		6				
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		149	8	38	409	82	10		27					34	1	5				
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	15	277	42	39	363	105	5	5	26		1	3		52		9				
	江南	6	6	1	2		3	115	6	41	330	43	10	1	28			1		60		4				
知多半島	半田	6	6	1	2	1	4	30	1	17	289	92	18	9	10			1		73		1				
	知多	7	7	2	2		6	208	3	198	307	53	1	2	32					82						
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		271		33	146	70	16	6	49	1				56		3				
	衣浦東部	11	11	2	4	1	5	319	1	36	288	115	4	23	35					44		16		1		
	西尾	5	5	1	2	1	9	76	5	29	200	50	12	3	15					22		11				
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1		139	1	34	1,001	114	2	3	29	1		1		54		12		5		
	加茂	3	3		1			83	6	2	138	31	4	1	5					20						
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1		388	10	49	302	35	1	3	24			2		8		11		4		
	豊川	9	8	1	2	1	19	227	1	45	334	91	1	1	11	1		2		36		2				
東三河北部	新城	2	2			1		6			22	4	1		1					3						

